

研究テーマ： 学士課程教育における『学生支援型キャリア教育プログラム』の体系的構築に関する研究	
研究代表者（職氏名）： キャリアセンター長 森田勝弘	連絡先 (E-mail等)： morita@pu-hiroshima.ac.jp
共同研究者（職氏名）： 教授 友定賢治， 助教 木本尚美， 助教 五條小枝子， 助手 平原敦子	

## 1. 背景と必要性

近年、従来の就職支援に関わる大学内の組織を「キャリアセンター」に改組し、併せて学士課程教育の中に「キャリア教育科目」を、早い年次からの正規の授業科目として取り入れる大学が増加している。その背景には、大学全入化時代の中で入学してきた学生に、変化の激しい時代をよりよく生きるための姿勢と資質を備えさせる必要性があり、その重要性が益々高まっているとの認識がある。

本学でも平成 19 年度にキャリアセンターを開設し、公立大学法人としての中期計画において「早い年次からのキャリア教育により、社会人として求められる行動様式や職業観・勤労観を身に付けさせ、進路を選択する能力を育てること」を目標に活動を進めている。本学の現行教育課程でも、「インターンシップ」や「キャリアビジョン」は配置されているが、早い年次からの、学生の自立意識の醸成、自己啓発と学部の専門教育とを連携した「体系的な構築」のレベルには達していない。本研究は、当該目標を達成するために計画されたもので、本学にとって緊急性の高い研究事業の一つと位置付けられる。

## 2. 目的

上記の背景と必要性を踏まえ、早い年次（1・2年次対象）における学生の、自律的な取り組みを促すためのキャリア教育科目の在り方を検討し、新設に向けた準備をすること、学生のニーズに合致し学生の自己啓発への意欲を喚起する「学生支援型キャリア教育プログラム」の体系化を目指すこと、及びキャリア支援における学部教員の資質の向上を目指すことを目的とする。

## 3. 実施内容

本研究は、平成 19 年度から 20 年度までの 2 年間にわたり、継続的に実施する計画としている。各年度の実施内容及び実施計画は、以下のとおりである。

### 【平成 19 年度実績】

#### (1) 他大学調査（平成 19 年 11 月～平成 20 年 3 月）

他大学のキャリアセンター（それに準ずる部署）を訪問し、その支援活動の内容や状況を聴取し、その結果を参考として、平成 20 年度の就職ガイダンス及び就職支援方策の企画・立案を進めた。

#### (2) キャリア形成支援科目の開設にかかる検討（平成 19 年 11 月～平成 20 年 1 月）

既設科目の受講効果を高めるために、1 年次後期の科目開設の事前検討を進め、平成 20 年度より広島キャンパスの 2 学部において、「キャリアデベロップメント」を開講する体制を整えた。これにより、低学年から高学年に至るまでの段階的なキャリア形成支援プログラムを構築しつつある。

#### (3) 『いきいきキャンパスライフ・プロジェクト』の活動支援と成果の検証

平成 19 年度より実施している本プロジェクトを支援し、学生が自発的に活動するよう支援した。また、平成 20 年度新入生ガイダンスにおいて、これまでの取り組みを報告すると共に、新規プロジェクトへの参加を募り、プロジェクトの定着を図った。

#### (4) 「就職活動の手引き（学生用）」及び「就職指導の手引き（教員用）」の新版発行準備

平成 21 年度の新版発行にむけて、その準備作業として、平成 19 年度版「就職活動の手引き（学生用）」の内容を精査し、編集作業面での改善事項を整理した。

#### 【平成 20 年度計画】

- (1) 今年度の他大学調査の結果や比較検討結果を踏まえ、平成 21 年度からのキャリア教育科目の開講を目指して、その授業内容の詳細設計を行う。
- (2) 本学の「キャリア教育と支援業務の体系化」の問題点と在り方を整理したうえで、単位認定科目として提示する「キャリア教育科目」とその他の「就職支援プログラム」を融合させて、体系的な『キャリア教育プログラム』を構築する。
- (3) 1・2 年次対象のキャリア教育科目で使用する「キャリアデザインブック」、及び「就職活動の手引き（学生用）」、「就職指導の手引き（教員用）」を発行する。また、県内優良企業の採用人事担当者やキャリア教育について高い見識と経験を有する講師を招聘し、講演会を企画・開催することにより、就職指導に対する全学的な共通認識の醸成と指導力の向上を目指す。

#### 4. 期待される成果

##### (1) 最終目標

平成 21 年度入学生から、正規の授業科目として、早い年次から提供する「キャリア教育科目」を新規に開講する。同時に、既設の授業科目やキャリアセンターが企画・運営する就職支援プログラム（講演会、ガイダンス、グループ面談、個人面接指導、キャリアカウンセリング、資格取得支援等）と連携した、全学に対する体系的な『学生支援型キャリア教育プログラム』を構築・運用する。

その結果として、現代社会が求める「社会人基礎力」等を身に付けた卒業生を輩出し、「地域に根ざした県民から信頼される大学」を標榜する県立広島大学としての人材育成目標を達成する。

##### (2) 当該年度目標

##### 【平成 19 年度実績】

平成 21 年度から開講予定のキャリア教育科目の事前検証を行ったことにより、「就職活動の手引き（学生用）」及び「就職指導の手引き（教員用）」の編集方針が明確となり、学生と教員の双方にとって、利便性の高い手引の発行が可能となった。

##### 【平成 20 年度計画】

- ① 平成 19 年度の他大学調査結果、及び平成 20 年度に広島キャンパスで開講する「キャリアデベロップメント」と「フレッシュマンセミナー」への授業参画経験を踏まえることにより、平成 21 年度から開講予定のキャリア教育科目の詳細設計の円滑化と授業内容の充実をはかる。
- ② 平成 20 年度の前期までに、本学の「キャリア教育と支援業務の体系化」に向けての問題点を整理し、本来の在り方を探ることにより、その後の、単位認定科目として提示する「キャリア教育科目」とその他の「就職支援プログラム」を融合させた体系的な『キャリア教育プログラム』構築に向けての道筋を明確にする。
- ③ 1・2 年次対象のキャリア教育科目で使用する新たな「キャリアデザインブック」、及び「就職活動の手引き（学生用）」、「就職指導の手引き（教員用）」を発行する。また、キャリア教育について高い見識と経験を有する講師を招聘し、講演会等を企画・開催することにより、就職指導に対する全学的な共通認識の醸成と指導力の向上をはかる。

以上